

令和3年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和4年8月

交流人口拡大本部 東京本部

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料	12 頁
7	事業別実施状況調べ	13 頁
8	予備費の充用調べ	14 頁
9	現金の取扱状況	14 頁
(1)	現金取扱状況	
(2)	つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	14 頁
(1)	公有財産	
(2)	金券類の保有状況	
(3)	基金	
(4)	債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	16 頁
(1)	土地及び建物	
(2)	物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	17 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	17 頁
(1)	管理状況	
(2)	減免の考え方	
(3)	使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	17 頁
15	備品の処分状況調べ	17 頁
16	貸付金等状況調べ	17 頁
(1)	総括表	
(2)	償還状況	
17	企業誘致の状況	18 頁
(1)	企業誘致の条件、目標等	
(2)	企業訪問	
(3)	企業の要望、課題等	
(4)	その他	
18	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	18 頁
19	観光宣伝の状況	22 頁
20	移住定住・就業支援の状況	24 頁
(1)	移住定住・就業支援に係る取組（大学との連携に係るものを除く）	
(2)	大学等との連携	
21	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	25 頁
○	意見、要望等	25 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和4年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当該年度	R3.4.1現在	当該年度	R3.4.1現在	当該年度	R3.4.1現在	当該年度	R3.4.1現在	
定員	13	12	0	0	0	0	13	12	
現員	(11) 24	(9) 21	(0) 1	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(11) 25	(9) 23	育児休業1 派遣10 ・内閣府 ・内閣官房 3 ・総務省 ・外務省 ・中小企業庁 ・（一財）自治体国際化協会 ・（一財）地域活性化センター ・（公財）日本財団
過不足 （△）	0	0	1	2	0	0	1	2	過員1（育児休業1、派遣10を除く）
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	7	7	0	0	0	0	7	7	一般事務3 販路開拓マネージャー1 企業誘致担当参与1 就職コーディネーター2

現員欄の上段（ ）は育児休業や省庁等派遣の人数で、内訳は備考欄に記載

4 役付職員の調べ

（令和4年8月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
本部長	堀田 晶子	年 0	月 4	
副本部長	田口 邦彦	0	4	
副本部長兼参事	山本 直生	0	4	通算2年4月
主幹	鳥飼 敏博	0	4	出納員
主幹	河上 一雄	2	4	
主幹	太田 知成	1	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
首都圏における交流人口拡大推進事業	10,864			10,864
将来ビジョン	—			
令和新時代創生戦略	08 働きがいも経済成長も			
政策項目	首都圏からの積極的な情報発信による鳥取県の認知度向上及びイメージアップ			

1 事業の目的、概要

新たな鳥取ファンの醸成（交流人口や関係人口の増加）のため、首都圏のメディアや旅行社等を通じた情報発信、鳥取県ゆかりの著名人やメディアと連携したイベント等を実施し、本県の認知度向上やイメージアップを図る。

また、県人会、同窓会、本県ゆかりのメディア関係者、本県出身の学生等の東京本部が有する人的ネットワークを活用し、情報の収集・発信を行う。

2 事業の内容、実施の状況

事業	内容
首都圏情報収集・発信、人的コネクションの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジン（毎週1回発行）やSNSを通じて、首都圏での鳥取県関連のイベントや旬の特産物等の情報を発信した。</li> <li>・東京鳥取県人会の活動は新型コロナウイルスの影響で規模縮小を余儀なくされたが、同会事務局として必要な支援や情報提供を行った。なお、同会が年1回開催する最大行事「総会・懇親の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。</li> <li>・首都圏で例年開催される県内高校等同窓会などが、新型コロナウイルス感染拡大により軒並み中止となった。</li> </ul>
首都圏でのメディアネットワーク構築、ゆかりの店との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大のため、例年実施している鳥取県ゆかりのメディア関係者との懇談会は中止した。</li> <li>・首都圏に拠点を置くテレビ、ラジオ、雑誌、新聞、インターネット媒体を通じて旬の鳥取県の情報を発信した。</li> </ul> <p>※資料番号19（2）参照</p>
首都圏における関係人口拡大推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六本木ヒルズとの連携や、アンテナショップやオンラインを活用し、本県の観光・特産品をPRするイベント等を実施し、関係人口拡大を図った。</li> </ul> <p>※資料番号19（1）参照</p>
首都圏の大学・学生との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治大学と連携し一般向けのオンライン講座を実施した。</li> <li>・早稲田大学の本県出身学生による鳥取県PRを実施した。</li> </ul>

3 事業成果・改善状況・課題等

ア 成果

- ・巣ごもり需要や東京オリンピック・パラリンピックなどの旬のネタをテーマに、マスコミへの情報提供や取材招致を行ったほか、オンラインを活用したイベントを実施するなど、トレンドを意識した情報発信で数多くのメディア露出を獲得することができた。
- ・各種メディアを通じて本県の魅力を発信したことにより、「地域ブランド調査2021（ブランド総合研究所）」の都道府県の魅力度ランキングは前年と同じ40位だったものの、2021年のポイントは16.5点と前年（13.4点）より上昇した。

#### イ 改善状況

- ・旅行や商品購買意欲の高い富裕層をターゲットに情報発信を行うため、森ビル(株)と連携して、六本木ヒルズなどで本県の魅力を発信した。

#### ウ 課題

- ・「地域ブランド調査2021（ブランド総合研究所）」では、本県の情報接触度が2020年の38位（31.3点）から43位（30.6点）へと低下した。認知度、魅力度を上げていくため、魅力的な観光素材や特産品など、イメージアップにつながる情報を積極的に発信していく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しつつ、本県にゆかりがあるメディア関係者とのつながりを強化し、本県の旬の情報を発信していただくとともに、本県のPRにつながる新たなアイデアやアドバイスをいただくなど、効果的に情報発信できる体制を構築する必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて観光誘客を図るためには、トレンドを意識しながら効果的に本県の魅力を訴求していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
首都圏アンテナショップ運営事業	100,867		2,928	97,939
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

## 1 事業の目的、概要

鳥取・岡山両県が共同で設置する首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は、両県産品の展示販売を行う「物販店舗」、両県の食材や食品などを活用した料理を提供する「飲食店舗」、観光情報等の提供や相談を行う「情報コーナー」、物産・観光展からセミナーまで様々なイベントが実施できる「催事スペース」、就職及びI・J・Uターンを支援する専門職員が常駐し就職と移住の相談がワンストップでできる「移住・しごと相談コーナー」、県内事業者がシェアオフィスとして活用できる「コワーキングスペース」等、多機能な情報発信拠点として設置・運営する。

## 2 事業の内容、実施の状況

## ア 事業の内容・実施の状況

事業	内容
アンテナショップにおける在日外国人等向け情報発信事業 [岡山県と共同実施]	・東京オリンピック・パラリンピック期間に合わせ、在日外国人も含めた首都圏消費者の「おうち観戦」の需要を獲得するため、テイクアウト商品等の割引が受けられるキャンペーンを実施した。
運営協議会負担金 [岡山県と折半]	・鳥取・岡山両県の職員で運営協議会を組織し、首都圏アンテナショップの円滑な運営・管理を行った。
首都圏アンテナショップを拠点とした情報発信促進事業 [鳥取県独自事業]	・催事スペース等で販売促進や商品PR活動を行う県内事業者を支援した。(2件) ・首都圏アンテナショップにおける県内事業者のテスト販売を支援した。(8事業者27商品) ・首都圏で開催される物産展等へのアンテナショップの出店を支援した。(2件)
首都圏アンテナショップ報告会の開催	・新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

## イ 共同アンテナショップの運営状況

a 開館日 平成26年9月28日(リニューアルオープン：平成31年4月26日)

## b 物販店舗及び飲食店舗の運営

物販店舗は(株)フジランドに運営を委託し、鳥取・岡山両県の特産品約3,000品目を販売した。  
飲食店舗は(株)稲田屋本店に運営を委託し、鳥取・岡山両県の食材を使った料理を提供した。

## c 情報コーナーの運営

鳥取・岡山両県の観光相談に応じるスタッフを配置(鳥取県、岡山県各2名)して対面での応対を行い、観光誘客を図った。

## d 催事スペース等の運営

1階にプロモーションゾーン、2階に催事スペースを設け、県内事業者に対し県産品の展示・試食販売等を行う機会の提供、首都圏在住者に対し移住に関する説明・相談会の開催等を行った。

## e 移住・しごと相談コーナーの運営

就職及びI・J・Uターンを支援する専門職員が常駐し、ワンストップで就職と移住の相談ができる場を提供した。

## f コワーキングスペースの運営

両県事業者やゆかりのある企業がシェアオフィスとして、また、県人会等が打ち合わせに使用できる場を提供した。

ウ 令和3年度実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

- a 入館者数 320,173人（前年度実績：260,270人）  
 b 売上金額 店舗合計 291,367千円（前年度実績：242,842千円）  
     物販店舗 230,377千円（前年度実績：195,971千円）  
     飲食店舗 60,990千円（前年度実績：46,871千円）

c 催事スペース等の利用日数及び主なイベント

<利用日数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）>

区分	利用日数	うち鳥取県関連
プロモーションゾーン(1階)	101日(34日)	26日(13日)
催事スペース(2階)	40日(13日)	18日(9日)

<主なイベント> ※ 資料番号21(3)参照

■鳥取県単独のイベント

催事名	開催期間	実施概要
入江聖奈選手感動をありがとう！「砂丘色（金色）のカエル」プレゼントキャンペーン	9月1日（水）～20日（月）	鳥取県出身入江選手の五輪金メダル獲得を記念して、1階ショップで鳥取県産の梨を2個以上お買い上げの方、または2階もてなし家でカエルスイーツを注文の方に、「砂丘色（金色）のカエル」をプレゼント
青谷弥生人初めての東京記念キャンペーン	11月26日（金）～28日（日）	弥生人復顔像を展示し、SNS投稿でプレゼントがもらえるキャンペーンを実施した。また、お披露目に合わせて、知事によるカニ汁の振る舞いも実施した。
鳥取ごっつお！郷土料理フェア	1月31日（月）～3月31日（木）	鳥取県産のカニやジビエ、鳥取和牛、星空舞などを使った特別メニューを提供

■鳥取県と岡山県が共同で実施した主なイベント

催事名	開催期間	実施概要
来館者300万人突破記念キャンペーン	7月9日（金）～11日（日）	・期間限定でガラポン抽選会を実施 ・オンラインショップ限定福袋の販売 ・鳥取県産スイカ及びスイカソーダを特別価格で販売 ・テイクアウト弁当を特別価格で販売 など
頑張ろう！鳥取・岡山「県産品販売促進」キャンペーン	11月1日（月）～3月15日（火）	県産品の販売を促進するため、会計金額に応じて次回使えるクーポン券を配布
オンラインショップ1周年記念セール	1月12日（水）～31日（月）	公式オンラインショップの開設1周年を記念して、割引セールを実施
牛乳危機を救え！鳥取&岡山牛乳飲み比べキャンペーン	3月24日（木）～31日（木）	レストランで両県産の牛乳の飲み比べセットを提供し、気に入った牛乳をプレゼント

d 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対応状況

<休業>

- ・感染者発生に伴う休業

物販店舗：8月8日（日）～15日（日）

飲食店舗：8月6日（金）、8月10日（火）～15日（日）、2月9日（水）～11日（金）

<営業時間の変更>

- ・物販店舗（通常営業：午前10時～午後9時）

期間	営業時間
令和3年4月12日～4月30日	午前10時～午後8時
令和3年5月1日～6月20日	午前10時～午後7時
令和3年6月21日～10月24日	午前10時～午後8時
令和4年1月21日～3月21日	午前10時～午後8時

・飲食店舗（通常営業：午前11時～午後10時）

期間	営業時間
令和3年4月1日～4月11日	午前11時～午後9時
令和3年4月12日～4月30日	午前11時～午後8時
令和3年5月1日～6月20日	午前11時～午後7時
令和3年6月21日～9月30日	午前11時～午後8時
令和3年10月1日～10月24日	午前11時～午後9時
令和4年1月21日～3月21日	午前11時～午後8時

- e 情報コーナーにおける相談件数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）  
745件（うち鳥取県関連 386件）
- f 移住・しごと相談コーナーにおける相談件数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）  
615件（うち鳥取県関連 195件）
- g コワーキングスペース利用登録事業者数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）  
30社（マンスリー4社、ワンデイ26社）〔うち鳥取県 5社（マンスリー2社、ワンデイ3社）〕

### 3 事業成果・改善状況・課題等

#### ア 事業成果

- ・店舗従業員の新型コロナウイルス感染症への感染に伴う休業や緊急事態宣言等による時短営業、外出自粛等による影響がある中、各店舗の売り上げは、物販店舗が前年比117.6%、飲食店舗が同130.1%と、コロナ禍において、一定程度の売り上げを確保することができた。
- ・コロナ禍でメディアの地方ロケが減少する中、旬の特産品フェア開催やインパクトのあるメニューの提供など、アンテナショップを情報発信拠点として活用し、令和3年度にメディアに取り上げられた件数が116件と、前年度の104件を上回った。

#### イ 改善状況

- ・県産品の消費喚起やアンテナショップの売り上げ回復を図るため、11月から3月にかけて、物販及び飲食両店舗で次回以降の来店時に割引が受けられる「頑張ろう！鳥取・岡山県産品販売促進キャンペーン」を実施した。
- ・物販店舗によるオンライン販売や飲食店舗でのテイクアウト弁当の販売について、割引キャンペーンの実施による周知を図り、コロナ禍に対応した販売促進策を講じた。
- ・タレントを起用したSNS広告配信や、LINE友だち追加で特典が受けられるキャンペーンを実施するなど、SNSを活用した販売促進に取り組んだ。

#### ウ 課題

- ・利用者、売上高を回復させるため、新たな県産品の発掘や飲食店舗のメニュー開発、接客サービスの向上に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた魅力あふれるアンテナショップの運営について検討していく必要がある。
- ・現行の店舗賃貸借契約や店舗運営委託契約等が令和5年度末を以て満了となることから、令和6年度以降のアンテナショップの運営について検討していく必要がある。



(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
首都圏における販路開拓推進	5,001				5,001
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	大項目—中項目—小項目— SDGsのゴール 12 つくる責任つかう責任				
政策項目	首都圏における県産品の販路開拓				

### 1 事業の目的、概要

首都圏において県産品の販路開拓を促進するために、首都圏の業界に精通したマネージャー（会計年度任用職員）を配置し、首都圏に展開している量販店、食品専門店、百貨店、飲食店などに対して、県産品（食品、食材）の取引及び商品の定番化を働きかけ、県産品の認知度向上及び販路拡大を図る。

### 2 事業の内容、実施の状況

#### ア 事業の内容

##### a 販路開拓マネージャー等による販路開拓支援

- ・販路開拓マネージャーの配置
- ・量販店・飲食店等に対して県産品の活用やフェア開催等の働きかけ
- ・量販店等のバイヤーや飲食店のシェフと県内生産者等のマッチング
- ・首都圏マーケット戦略の策定

##### b 旬の特産品の首都圏メディアPR

スイカ、梨、カニ等の旬の時期に、首都圏メディアへのキャラバンやプレゼント企画の呼びかけを実施した。

#### イ 事業の実施状況 ※ 資料番号 2 1 参照

##### a 販路開拓マネージャーの配置

販路開拓のエキスパートとして首都圏のスーパーマーケット、百貨店、食品専門店、通信販売などのバイヤーに対して県産品の取引の定番化を働きかける「販路開拓マネージャー」を1名配置した。

##### b スーパーマーケット、百貨店等への県産農林水産物の販路開拓

- ・「いなげや」「三浦屋」など首都圏のスーパーマーケットで、スイカ、梨など旬の特産物の販売促進支援を実施した。
- ・三越日本橋本店、伊勢丹新宿店など首都圏の百貨店で、松葉がにや鳥取和牛の販売促進支援を実施した。

##### c スーパーマーケットや食品専門店への県産加工食品の販路開拓

首都圏のスーパーマーケット等のバイヤーと県内事業者とのリモート商談会を開催し、県産品のフェアでの新商品の取り扱いに結びつけ、最終的には定番商品を目指して継続的に支援した。

##### d 百貨店等での物産フェア等の開催

百貨店やスーパーマーケットにおける県産品のPRや定番化等を目的とした物産フェアを開催した。

開催店舗名（期間中延べ来店者数）	開催期間	取引事業者数
SainE（セーヌ）よしや 11店舗 (1,463,000人)	5月1日(土)～31日(月) 7月10日(土)～11日(日) 10月4日(月)～1月14日(金) 2月1日(火)～28日(月)	46社
おおのや((株)大寿)3店舗(9,000人)	6月11日(金)～13日(日)	18社

スズキヤ 8店舗 (26,000人)	6月30日(水)～7月1日(木) 10月20日(水)～22日(金)	15社
いなげや 134店舗 (2,660,000人)	8月31日(火)～9月19日(日)	1社
エコ・ピア 2店舗 (10,000人)	10月21日(木)～24日(日)	26社
三浦屋 7店舗 (30,000人)	11月2日(火)～8日(月)	16社
伊勢丹新宿店 (70,000人)	11月3日(水)～9日(火)	1社
三越日本橋店 (50,000人)	11月10日(水)～14日(日)	1社
御馳走えん 1店舗 (9,000人)	11月18日(木)～28日(日)	5社
三徳 33店舗 (70,000人)	1月22日(土)～23日(日)	11社
シミズヤ 1店舗 (4,000人)	1月27日(木)～30日(日)	7社

e 首都圏の飲食店等でのフェアの開催

都内飲食店や本県ゆかりの店を中心に、サンプル送付や食材勉強会を開催し、都内高級店及びゆかりの店等でレストランフェアを開催した。

◇Roppongi Hills×鳥取県 冬の味覚

- ・期間：11月19日(金)～12月2日(木)
- ・実施店舗：11店(ラトリエ ドウ ジョエル・ロブション、六本木うかい亭など)
- ・主な県産食材：カニ、鳥取和牛、シカ肉、星空舞、乳製品など

◇高級レストランでの鳥取県産食材応援フェア

- ・期間：2月1日(火)～3月15日(火)(期間は店舗によって不同)
- ・実施店舗：10店(シェ・イノ、Turandot 臥龍居など)
- ・主な県産食材：カニ、鳥取和牛、シカ肉、大山ブロッコリーなど

◇鳥取ゆかりの店での鳥取県産食材応援フェア

- ・期間：2月21日(月)～3月20日(日)(期間は店舗によって不同)
- ・場所：首都圏6店(さん昇、半蔵門ビストロブレインストーミングなど)
- ・主な県産食材：カニ、鳥取和牛、砂丘らっきょうなど

f メディアと連携した県産品の情報発信

- ・スイカや梨については、首都圏メディアへ販売時期等を情報提供の上、一部のメディアには訪問してPRし、新聞やWEBに読者プレゼント付きの記事を掲載していただいた。
- ・認知度向上を図るため、料理雑誌社と連携して、ラッキョウ、ベニズワイガニをメイン食材とする料理教室を開催した。

g 市場や高級果物店における県産品の情報発信

- ・スイカ、梨、輝太郎柿について、市場で販売開始時期に見本品・ポスター展示、主な仲卸への販促活動を行った。また、新宿高野でスイカや梨のオンラインセミナーを実施し、首都圏の消費者に産地PRを行った。

3 事業成果・改善状況・課題等

ア 成果

- ・県産特産品のすいか(倉吉すいか、極実すいか、大栄すいか)、梨(新甘泉、二十世紀梨)について、首都圏のスーパーマーケット「いなげや」等でのPR販売の販売実績が好調なため、来年度はこれまでPR販売してこなかった新規量販店においても実施することとしている。
- ・東京本部が関わって取引まで至った商品数は、延べ781品目で、昨年同期の666品目と比べると1年間で100品目以上の増加となった。

■取引企業と取引商品の実績

企業名(店舗数)	商品取引事業者数・商品数と主な取引商品
(株)よしや(11店舗)	83社・277品目：鳥取和牛、星空舞、鬼しじみ、とうふちくわ、地酒等
(株)ビーワイオー(1店舗)	35社・79品目：かにみそバーニャカウダ、ジビエ缶詰(鹿肉のポルペッティ)等
(株)スズキヤ(11店舗)	32社・55品目：輝太郎柿、王秋梨、鬼しじみ、カニクリームコロッケ等

(株)大寿(おおのや)(6店舗)	31社・57品目：らっきょう、ベルギーワッフル、かにみそバーニャカウダ等
(株)三浦屋(11店舗)	27社・58品目：アジフライ、ジャンボエリンギ、ねばりっこ等
(株)日本百貨店(9店舗)	25社・56品目：はと麦茶、あご入り鰹ふりだし、干し柿(あんぽ柿)等
(株)サカガミ(8店舗)	15社・38品目：ジャンボエリンギ、二十世紀梨、極実すいか等
(株)ルクサ(ネット販売)	9社・24品目：ぶちころ柿、にんにく卵黄ふりかけ等
(株)東急百貨店(2店舗)	2社・12品目：大山ハム各種、ナッツの蜂蜜漬け等
(株)いなげや(137店舗)	2社・10品目：らっきょう、すいか、梨等
(株)アスクル(ネット販売)	2社・4品目：あご入り鰹ふりだし、桑の葉茶等
(株)サザビーリーグ (あこめや)(3店舗)	1社・2品目：ねぎ酢、ねぎポン酢
(株)もへじ(400店舗)	1社・1品目：麴漬け(するめいか)
(株)京北スーパー(8店舗)	1社・1品目：ごぼう茶

#### イ 改善状況

- ・富裕層向けに本県食材の知名度向上を図るため、六本木ヒルズを運営する森ビル(株)と連携し、六本木ヒルズ内でのレストランフェア開催や物産展、屋上庭園での「星空舞」の稲作づくりを実施した。
- ・コロナ禍で需要が低下している県内生産者を支援するため、また食材のブランド価値を高めるため、都内高級レストランおよび本県ゆかりの店とのネットワークを活用し、県産食材を使ったフェアを積極的に実施した。

#### ウ 課題

- ・引き続き、首都圏バイヤーのニーズや県内事業者の掘り起こしに努めるとともに、首都圏バイヤーと県内事業者とマッチングを強化し、定番化する県産品をより一層拡大させ、取引量を増加させる必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン商談が常態化してきた一方、量販店バイヤーの県内訪問やリアル商談を求める声もあることから、バイヤーの希望を聞きながら、柔軟に商談機会を創出していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
首都圏学生 I J Uターン就職促進事業	903				903
将来ビジョン	2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (2) 移住定住や関係人口が増加				
令和新時代創生戦略	3. 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 鳥取+rhythm (1) 移住・定住 ①「移り住みたい」・「住み続けたい」・「帰りたい」鳥取県 SDGsゴール 08 働きがいも経済成長も				
政策項目	ビジネス人材移住支援や大学連携協定倍増など4年で移住者1万人				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>首都圏在住の鳥取県出身又は鳥取県に興味関心のある学生の鳥取県への I J Uターン就職を促進するため、首都圏の大学等と連携した情報提供の取組を進めるとともに、鳥取県内企業への関心や地元就職への意識の高まりを狙った事業を実施した。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) とっとりWorkWork (ワクワク) 飛行機ツアー (鳥取県内企業視察訪問等)</p> <p>県内就職に関心のある首都圏の学生がグループで鳥取県内企業等の視察及び企業紹介フェア等へ参加し、I J Uターン就職の意識醸成を図った。</p> <p>&lt;実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回目 12月27・28日、参加学生10名 (企業訪問5社、企業紹介フェアにオンライン参加)</li> <li>・ 2回目 3月10・11日、参加学生6名 (企業訪問4社、企業ガイダンスにオンライン参加)</li> </ul> <p>(2) 首都圏学生交流会</p> <p>鳥取県をキーワードとした学生同士の交流を通して郷土への関心を高めるとともに、学生と県との良好な関係性を構築することで、その後の各種イベント・セミナーへの参加者の増加につなげるため、首都圏の学生を対象とした交流会を開催した。</p> <p>&lt;実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月14日、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインによる学生就職セミナーのみ実施した。7名参加。</li> </ul> <p>(3) 鳥取県学生寮就職セミナー</p> <p>鳥取県学生寮 (明倫館・清和寮) の寮生に対し、Uターン就職をした若手社会人からUターンの魅力を伝えたり、職員やふるさと鳥取県定住機構のアドバイザーから就活のアドバイスをするなど、Uターンへの意識醸成を図った。</p> <p>&lt;実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清和寮 (女子寮) : 10月24日、参加学生39名 (オンライン)</li> <li>・ 明倫館 (男子寮) : 新型コロナウイルス感染拡大時期と重なり、中止</li> </ul> <p>(4) 学生寮Uターン就職出張相談会 (追加実施事業)</p> <p>鳥取県学生寮に就職コーディネーターを派遣してUターン就職に関する個別相談会を実施し、寮生のUターン就職促進を図った。</p> <p>&lt;実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清和寮 : 11月25日、参加学生3名</li> <li>・ 明倫館 : 1月20日、参加学生0名</li> </ul> <p>(5) 首都圏大学等 I J Uターン就職相談会等への参加</p> <p>首都圏の学生に対し本県への I J Uターン就職を促進するため、ふるさと鳥取県定住機構のアドバイザーが、大学が主催する就職相談会等に参加 (オンライン) して学生からの相談対応等を行った。</p> <p>&lt;実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加大学数 : 8校 (計11回/面談学生数のべ9名)</li> </ul>					

### 3 事業成果（改善状況）・課題等

#### (1) 成果

##### ◆とっとりWorkWork（ワクワク）飛行機ツアー

参加学生16名に行ったアンケート結果（抜粋）は次のとおりであった。

〔満足度〕満足12名、やや満足4名

〔コメント〕・鳥取県の企業情報が一気に手に入れられ、鳥取で働くイメージが少し沸いた。

- ・様々な分野の職種を知ることができ、鳥取での就職の幅が広がった。
- ・今まで気づけなかった企業の地域貢献を知り、貴重な情報を得られた。
- ・地元に戻り、地域に寄り添って働いている先輩方の声を直接聞く機会となった。

##### ◆首都圏学生交流会

参加学生のうち3名からアンケートの回答があった。

〔満足度〕満足3名

##### ◆鳥取県学生寮就職セミナー

参加者39名に行ったアンケート結果（抜粋）は次のとおりであった。

〔満足度（Uターン就職事例紹介・体験談）〕「大変参考になった」「参考になった」が9割以上

〔コメント〕・鳥取での就職への関心が高まった。

- ・鳥取にある企業の紹介や探すきっかけを提示してもらえ、とても参考になった。
- ・自己分析から面接の方法まで詳しく聞くことができ、大変勉強になった。

##### ◆学生寮Uターン就職出張相談会

参加学生3名とも個別に長時間の相談ができたことでとても満足したとの感想であった。

#### (2) 改善状況

年度当初には予定になかった学生寮Uターン就職出張相談会を企画、実施し、コロナ禍で大学等の就職相談部門（キャリアセンター等）への相談が十分にできない学生への相談機会の提供ができた。

#### (3) 課題

- ・首都圏には学生にとって魅力的な企業や生活スタイルが多数存在する中であって、鳥取県内で就職し暮らしていくことの良さや、価値観を定期的かつ効果的に伝えていくことが必要である。
- ・首都圏には本県出身学生が少なく、都内で実施する学生向けのイベントの集客が課題である。このため、鳥取県公式情報アプリ「とりふる」の活用や、県主催イベントや大学のUターンセミナーなど、あらゆる機会や手法を通じて学生とつながる機会を確保し、ネットワークを構築していくことが必要である。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額						
歳	商工費国庫補助金	0	29,014,000	0	29,014,000	10,000,000	0	0		
	雑入	10,275,000	0	0	10,275,000	729,330	0	0		
入	合計	10,275,000	29,014,000	0	39,289,000	10,729,330	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額	支出済額（決算額）	支出済額の内訳		翌年度繰越額	差引残額（不用額）	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額			計	本庁			
歳	一般管理費	0	0	0	2,134,051	2,093,732	0	2,093,732	0	40,319	
	県外事務所費	47,847,000	△ 1,900,000	0	45,947,000	43,150,886	1,502,640	41,648,246	0	2,796,114	
出	商業振興費	107,087,000	29,014,000	0	136,101,000	113,379,869	714,000	112,665,869	16,419,000	6,302,131	
	合計	154,934,000	27,114,000	0	184,182,051	158,624,487	2,216,640	156,407,847	16,419,000	9,138,564	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円、%)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	修正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 計 A					
(一般管理費)									
赴任旅費	0	0	0	2,134,051	2,093,732	0	40,319	98.1%	東京本部職員の赴任旅費 ※所管替配当
目計	0	0	0	2,134,051	2,093,732	0	40,319		
(県外事務所費)									
東京本部運営費	30,470,000	△ 1900000	0	28,570,000	26,383,345	0	2,186,655	92.3%	東京本部の運営に要する費用
首都圏販路開拓 推進事業	4,720,000	0	0	5,056,568	5,000,942	0	55,626	98.9%	主な事業に関する調べに記載のとおり
首都圏学生JiJターン就 職促進事業	1,570,000	0	0	1,434,010	902,923	0	531,087	63.0%	主な事業に関する調べに記載のとおり
首都圏における交流人口 拡大推進事業	11,087,000	0	0	10,886,422	10,863,676	0	22,746	99.8%	主な事業に関する調べに記載のとおり
目計	47,847,000	△ 1900000	0	45,947,000	43,150,886	0	2,796,114		
(商業振興費)									
首都圏アンテナショップ 運営事業	107,087,000	0	0	107,087,000	100,867,419	0	6,219,581	94.2%	主な事業に関する調べに記載のとおり
首都圏アンテナショップ での県産品等消費喚起 キャンペーン事業	0	12,595,000	0	12,595,000	12,512,450	0	82,550	99.3%	主な事業に関する調べに記載のとおり
首都圏アンテナショップ を活用した県産品販路拡 大事業	0	16,419,000	0	16,419,000	0	16,419,000	0	0.0%	国の補正予算を活用し、県産品の需要 回復・販路拡大の対策を講じることと しているため、予算繰り越しを行う。
目計	107,087,000	29,014,000	0	136,101,000	113,379,869	16,419,000	6,302,131		
合計	154,934,000	27,114,000	0	184,182,051	158,624,487	16,419,000	9,138,564		

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
寄付金	100,000	1	ふるさと納税
合 計	100,000	1	

(2) つり銭の状況 該当なし

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動 産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物 権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利

(令和4年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出損金 (都道府県 会館設立に 係るもの)	709,000,000円	0円	0円	709,000,000円	(公財) 都道府県セン ター	H6: 200,000,000円 H7: 290,000,000円 H8: 219,000,000円
合 計	709,000,000円	0円	0円	709,000,000円		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
161枚	600枚	355枚 378,310円	406枚



(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(令和4年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
鳥取県岡山県共同 アンテナショップ 賃貸借に係る敷金	76,881,936円	1件	0円	0件	0円	0件	76,881,936円	1件	
合計	76,881,936円	1件	0円	0件	0円	0件	76,881,936円	1件	

1.1 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし  
イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住所	氏名	
借受不動産	事務スペース	東京都千代田区平河町2-6-3	3.3㎡	R3.4.1	H13.4.1	R3.4.1 ~R4.3.31	年額	196,188	鳥取県鳥取市若葉台南7-5-1 (公社)鳥取県産業振興機構	文書ID 20-00329259	
			3.3㎡	R3.4.1	H19.3.7		年額	196,188	鳥取県鳥取市元魚町2-201エステートビル5階 (公社)鳥取県観光連盟		
			3.3㎡	R3.4.1	H26.4.1		年額	196,188	鳥取県鳥取市末広温泉町160 (一社)鳥取県物産協会		
計								588,564			
合計								588,564			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

1 2 借受不動産明細調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)	住所	氏名	
建物	SRC造 地下3階 地上16階	東京本部 事務室	東京都千代田区 平河町2-6-3	245.7㎡	有	R3.4.1 ~R4.3.31	月額 1,217,295 3	東京都千代田区平河町2-6-3 (公財)都道府県センター 理事長 平井 伸治	文書ID 20-00327742	
建物	SRC造 地下1階 地上10階	アンテナ ショップ	東京都港区新橋 1-11-7	1階 354.01㎡ 2階 587.34㎡ 合計 941.35㎡	有	H31.4.1 ~R6.3.31	月額 6,919,374	東京都港区青山2-6-21 東急不動産(株)都市事業 ユニット都市事業本部 執行役員本部長 友井俊介	文書ID 20-00314627	
合計				1,187.05㎡					8,136,669	

1 3 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

1 4 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

1 5 備品の処分状況調べ 該当なし

1 6 貸付金等状況調べ 該当なし

17 企業誘致の状況

(1) 企業誘致の条件、目標等

- ・ 鳥取県産業振興未来ビジョンの基本目標である「コロナ危機を克服し、県経済産業の`再生`と`持続的発展`を実現」するため、DX（デジタル・トランスフォーメーション）などの成長分野に係る企業誘致を進める。
- ・ 鳥取県内でも人手不足が懸念される中、低賃金で大量雇用を行うようなビジネスモデルではなく、県民所得の向上に資するような事業の誘致に努める。

(2) 企業訪問

① 訪問企業数 199社（内訳：対面訪問9社、オンライン訪問190社）

② 内訳

区分	令和3年度新規開拓企業 (151社)	再訪 (48社)
業種	主にIT関連	IT関連、製造業

(3) 企業の要望、課題等

- ・ 首都圏の各分野の企業とも、特に技術系の人材の確保が課題となっていることから、鳥取県への立地を検討するに当たって、県内における技術人材の確保が求められているが、鳥取県の有効求人倍率が1.49倍（令和4年3月）となっており、全国8位の高さで地元での人材確保も困難な状況であり、首都圏の都県（東京都1.34倍、神奈川県0.82倍、埼玉県0.96倍、千葉県0.90倍）よりも高く、人手不足対応のために地方立地を考える多くの企業には、鳥取県への立地の魅力は感じられにくくなっている。

このような理由から、技術系職種への転職を促す鳥取県技術人材バンクをはじめとする各種人材誘致施策や、県産業技術センターのものづくり人材育成塾等により、県内の実践的産業人材の充実に取り組む必要がある。

- ・ 併せて、首都圏を含む県外から人材活用に資するよう、とっとり・おかやま新橋館内の「移住・しごと相談コーナー（県立東京ハローワーク）」における事業周知や、大手転職サイトの活用等、鳥取県へのIJUターン就職の取組を一層、促進する必要がある。
- ・ コロナ禍にあって、首都圏の企業が立地を検討するための県内視察訪問を行うことのできない状況であることから、より効果的にオンラインでの説明を行う必要がある。

(4) その他

（公財）鳥取県産業振興機構の東京駐在コーディネーター（令和3年9月1日採用）が主体となって、首都圏からの受注を目指す県内企業と首都圏企業との橋渡しによる県内工業製品の紹介や発注交渉等を進めた。

○首都圏企業への働きかけ状況

方法	勧誘企業数		受注案件数		成約件数	
		うち新規		うち新規		うち新規
実訪問	10	4	23	6	2	1
メール・電話等	158	85	4	2	1	0
計	168	89	27	8	3	1

18 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

(1) イベントでのPR

名称	内容	期間	場所	実施主体	事業内容
らっきょう漬け方WEB講習会	販促PR	6月2日(水)	総合区民センター(江東区)	東京本部、全農とっとり	県産食材PR
鳥取県砂丘らっきょう講座	販促PR	6月9日(水)	コトラボ阿佐ヶ谷(杉並区)	東京本部、全農とっとり	県産食材PR
スーパーよしや「鳥取フェア」	販売	5月1日(土)~31日(月)	スーパーよしや(板橋区他)	東京本部	県産品の販売
大田市場「鳥取すいか」出荷セレモニー	販促PR	6月10日(木)	大田市場(大田区)、県内(リモート会議)	東京本部、全農とっとり	鳥取すいかの販促PR
スーパーいなげや倉吉スイカ販売	販売	6月上旬~7月中旬	スーパーいなげや(立川市他)	東京本部	県産品の販売
新宿高野「大栄西瓜セミナー」	料理提供	6月25日(金)	新宿高野本店(新宿区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部	大栄西瓜の料理提供
スーパースズキヤ極実スイカ試食販売	販売	6月30日(水)~7月1日(木)	スーパースズキヤ(逗子市他)	東京本部	県産品の試食販売
スーパーいなげや極実スイカ販売	販売	7月上旬	スーパーいなげや(立川市他)	東京本部	県産品の販売
スーパーサカガミ極実スイカ販売	販売	7月上旬~7月中旬	スーパーサカガミ(豊島区他)	東京本部	県産品の販売
スーパー三浦屋極実スイカ販売	販売	7月上旬	スーパー三浦屋(杉並区他)	東京本部	県産品の販売
首都圏量販店等リモート商談会	商談	7月29日(木)	アンテナショップ、県内(リモート会議)	東京本部	県内事業者と首都圏量販店とのマッチング
大田市場「鳥取の梨」出荷セレモニー	販促PR	8月23日(月)	大田市場(大田区)	東京本部、全農とっとり	二十世紀梨、新甘泉の販促PR
川崎アゼリア「食のみやこ鳥取物産展」	販売	8月25日(水)~30日(月)	川崎アゼリア(川崎市川崎区)	東京本部	県産品の販売
スーパーいなげや二十世紀梨・新甘泉販売	販売	8月31日(火)~9月19日(月)	スーパーいなげや(立川市他)	東京本部	二十世紀梨・新甘泉の販売
新宿高野「梨セミナー」	料理提供	8月31日(火)	新宿高野本店(新宿区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部	二十世紀梨、新甘泉等の料理提供
大田市場「輝太郎柿」出荷セレモニー	PR	10月4日(月)	大田市場(大田区)	東京本部、全農とっとり	輝太郎柿の販促PR
スーパーよしや「星空舞、きぬむすめ新米キャンペーン」	販売	10月4日(月)~14日(金)	スーパーよしや(板橋区他)	東京本部	県産品の販売
ベニズワイガニ料理講座	販促PR	10月9日(土)	コトラボ阿佐ヶ谷(杉並区)	東京本部、境港市産地協議会	県産食材PR
スーパーよしや「鳥取フェア」	販売	10月9日(土)~12日(火)	スーパーよしや(板橋区他)	東京本部	県産品の販売
明治大学ホームカミングデー	販売	10月17日(日)	WEB開催	東京本部	アンテナショップ出店販売
伊勢丹新宿店「鳥取和牛フェア」	販売	11月3日(水)~9日(火)	伊勢丹新宿店(新宿区)	物産協会、販路拡大・輸出促進課、東京本部	県産品の販売
三越日本橋店「鳥取松葉がにフェア」	販売	11月10日(水)~14日(日)	三越日本橋店(中央区)	物産協会、販路拡大・輸出促進課、東京本部	県産品の販売

御馳走えん「ミニ鳥取フェア」	販売	11月18日(木)～28日(日)	御馳走えん(千代田区)	東京本部	県産品の販売
レストランフェア「Roppongi Hills×鳥取県 冬の味覚」	料理提供	11月19日(金)～12月2日(木)	六本木ヒルズ内飲食店13店舗(港区六本木)	東京本部	県産食材を使ったメニューの提供
スーパー三徳「山陰・山陽フェア」	販売	1月22日(土)～23日(日)	スーパー三徳(新宿区他)	物産協会、東京本部	県産品の販売
スーパーシミズヤ「山陰フェア」	販売	1月27日(木)～30日(日)	シミズヤ(世田谷区)	東京本部	県産品の販売
スーパーよしや「鳥取フェア」	販売	2月1日(火)～28日(月)	スーパーよしや(板橋区他)	東京本部	県産品の販売
高級レストランでの鳥取県産食材応援フェア	料理提供	2月8日(火)～3月15日(火)	東京都内高級レストラン11店舗	販路拡大・輸出促進課、東京本部	県産食材を使ったメニューの提供
鳥取ゆかりの店での鳥取県産食材応援フェア	料理提供	2月15日(火)～3月20日(日)	東京都内鳥取ゆかりの店6店舗	販路拡大・輸出促進課、東京本部	県産食材を使ったメニューの提供

※ マスコミへのPR、関係者へのチラシ配布、メールマガジン配信、ホームページへの掲載などにより、これらの催しの広報宣伝を行うとともに、催事の企画運営、運営スタッフ派遣などの支援を行った。

(2) マスメディアを活用した情報発信(※アンテナショップ関係を除く)

区分	件数	放映・掲載時期	番組・媒体名	情報発信の内容
新聞	13	6月中旬～7月上旬	毎日新聞(東京版)、東京新聞、日本海新聞	鳥取のすいかマスコミPR(メール、WEB配信)
		8月下旬～9月上旬	東京新聞、毎日新聞(東京版)、毎日小学生新聞(全国版)、日刊ゲンダイ、夕刊フジ、定年時代、日本海新聞	鳥取の梨マスコミPR(メール配信、一部訪問)
		1月上旬	定年時代、日刊ゲンダイ、夕刊フジ	松葉がにプレゼント企画
インターネット	13	6月中旬～下旬	産経iD、朝日マリオン・コム、オレンジページネット、旬刊旅行新聞、TOKYO HEADLINE、NEWS Collect、シティリビングWeb、YAHOO! JAPAN ニュース、GREE	鳥取すいかマスコミPR(メール、WEB配信)
		8月下旬～9月上旬	毎日新聞(WEB)、朝日マリオン・コム、産経iD、TOKYO HEADLINE	鳥取の梨マスコミPR(メール配信、一部訪問)

(3) アンテナショップのPR

ア アンテナショップにおける主なイベント開催

名称	内容	期間	事業内容
鳥取県産食材応援弁当限定販売	販売	4月1日(木)～15日(木)	コロナにより消費が落ち込んでいる鳥取県産食材を賛賞に使った「鳥取のカニ応援弁当」、「鳥取和牛応援弁当」を期間限定で販売
日本遺産のまち 三朝町・三朝温泉フェア	販売	4月6日(火)～14日(水)	「日本遺産のまち三朝町」に関連したフェア商品を購入された方に三朝温泉グッズをプレゼント
鳥取県産ホタルイカフェア	販売	4月5日(月)～5月6日(木)	鳥取県産ホタルイカを使ったリゾット、パスタ、サラダなどのメニューを提供
とりおかゴールデンウィークフェア	イベント	4月29日(木)～5月5日(水)	・SNSで対象となる投稿の中から抽選で両県産品やお食事券をプレゼント ・オンラインショップで使える割引クーポンプレゼント ・送料無料キャンペーン など
鳥取県産らっきょう産直市	販売	5月29日(土)～6月9日(水)	北栄町産、福部町産の生らっきょうの新物、らっきょう酢、姫とうがらしの店頭販売
コロナに負けるな!鳥取・岡山応援キャンペーン	販売	6月1日(火)～20日(日)	コロナ禍で外出が難しい中、県産品の消費拡大を応援するため、オンラインショップでの割引セールやテイクアウト弁当の特別価格での販売を実施

鳥取県産スイカフェア	販売	6月11日(金) ~7月1日(木)	倉吉すいか、大栄すいかの大玉、カットすいかの店頭販売や鳥取県産スイカパフェなど限定カフェメニューの提供
来館者 300 万人突破記念キャンペーン	イベント	7月9日(金) ~11日(日)	・期間限定でガラポン抽選会を実施 ・オンラインショップ限定福袋の販売 ・鳥取県産スイカ及びスイカソーダを特別価格で販売 ・テイクアウト弁当の特別価格での販売 など
アンテナショップ「おうちで応援キャンペーン」& 団長安田プロデュース弁当	販売	7月21日(水) ~9月26日(日)	東京オリパラ開催に合わせて、「巣ごもり応援」をキーワードにおつまみセットやお家ご飯セット、テイクアウト弁当等を特別価格で販売 安田大サーカス団長安田さんに鳥取和牛やとうふちくわなどを使ったタンパク質豊富な弁当をプロデュースしてもらい期間限定で販売
入江聖奈選手感動をありがとう！「砂丘色(金色)のカエル」プレゼントキャンペーン	販売	9月1日(水) ~20日(月)	鳥取県出身入江選手の五輪金メダル獲得を記念して、1階ショップで鳥取県産の梨を2個以上お買い上げの方、または2階もてなし家でカエルスイーツを注文の方に、「砂丘色(金色)のカエル」をプレゼント
鳥取県産 二十世紀梨と鳥取梨フェア	販売	9月2日(木) ~15日(水)	二十世紀梨、二十世紀梨のお菓子やジュース、旬の新甘泉梨の店頭販売
とっとり・おかやま新橋館7周年祭	イベント	9月28日(火) ~10月31日(日)	・期間限定でワンコイン等の特価商品を販売 ・鳥取県産梨の特価販売 ・鳥取県産梨のフルーツタルトの提供 ・両県産野菜の100円市 ・テイクアウト弁当の特別価格での販売 など
頑張ろう！鳥取・岡山「県産品販売促進」キャンペーン	イベント	11月1日(月) ~3月15日(火)	県産品の販売を促進するため、会計金額に応じて次回使えるクーポン券を配布
青谷弥生人初めての上京キャンペーン	イベント	11月26日(金) ~28日(日)	弥生人復顔像を展示し、SNS投稿でプレゼントがもらえるキャンペーンを実施
アンテナショップ オリジナルスイーツ「カエルトッツォ」販売	販売	12月1日(水) ~12月20日(月)	本県初のオリンピック金メダリスト・入江聖奈選手にちなんだ「カエル愛」が2021年流行語となったことを記念して、同じく流行語となった「マリトッツォ」をカエルに見立てた新作スイーツを販売
初売りウィーク	イベント	1月4日(金) ~16日(日)	・鳥取県産松葉ガニの特価販売 ・期間限定でガラポン抽選会を実施 ・オンライン限定福袋販売 ・両県の地酒及びお雑煮の提供 など
オンラインショップ1周年記念セール	販売	1月12日(水) ~31日(月)	公式オンラインショップの開設1周年を記念して、割引セールを実施
鳥取ごっつお！郷土料理フェア	販売	1月31日(月) ~3月31日(木)	鳥取県産のカニやジビエ、鳥取和牛、星空舞などを使った特別メニューを提供
福寄せ雛はじめての上京 in とっとり・おかやま新橋館	イベント	2月15日(火) ~3月3日(木)	福寄せ雛の展示やいちご「とっておき」を使用した期間限定スイーツを販売、本県及び日野町のPR
旬の食材消費拡大キャンペーン	販売	2月1日(火) ~28日(月)	両県の旬の食材を使ったメニューを特別価格で販売
春のお楽しみキャンペーン	販売	3月1日(火) ~31日(木)	・平日限定で、金額に応じてもう一方の店舗で使用できる商品券をプレゼント ・オンラインショップの酒類を送料無料 ・スイーツを特別価格で販売 など
牛乳危機を救え！鳥取&岡山 牛乳飲みくらべキャンペーン	イベント	3月24日(木) ~31日(木)	レストランで両県産の牛乳の飲み比べセットを提供し、気に入った牛乳をプレゼント

※ この他、各種物産展等において、アンテナショップの広報宣伝を行った。

イ 媒体掲載

区分	件数	媒体
テレビ ラジオ	21	日本テレビ「ZIP!」、テレビ朝日「相葉マナブ」、日本テレビ「有吉ゼミ」、OHK岡山放送「Re:SETO(リセット)」、フジテレビ「Live News イット!」、FMMUSICBIRD「まだ水曜?」、調布FM「ゆうがた5」等
新聞、雑誌等	31	山陽新聞(朝刊)、日本海新聞、暮らすメイト、読売新聞(夕刊)、東京リビング、東京新聞、日刊スポーツ、産経新聞、富士フィルム会報誌「いろいろ」、カラふる、江戸楽、メトロミニッツ、旅行読売等
インターネット メディア	64	カラふる、On Trip JAL(オントリップ ジャル)、NEWSCAST、まっふるトラベルガイド、OZmail、みずほプレミアムクラブ、さんたつby散歩の達人、読売新聞オンライン等

※ この他、県物産、観光等に関する各種雑誌取材等において、アンテナショップの広報宣伝を行った。

1.9 観光宣伝の状況

(1) 首都圏でのPR実績

名称	期間	場所	実施主体	内容
六本木ヒルズ屋上庭園「星空舞 田植え」メディア発表会	5月22日(土)	六本木ヒルズけやき坂コンプレックス屋上庭園(港区六本木)	森ビル(株)、東京本部	星空舞による流れ星田んぼアートのほか五ツ星お米マイスターによる美味しいおにぎり握り方実演など、鳥取県及び星空舞をPRした。(感染症予防の観点から、メディア向けに関係者のみで実施)
六本木ヒルズ「キッズワークショップ2021」	8月19日(木)	WEB	森ビル(株)	大山乳業とオンラインでつなぎ、子ども向けの体験講座を実施し、白バラ牛乳や観光をPRした。
観光物産展「川崎アゼリア 食のみやこ鳥取物産展」	8月25日(水)~8月30日(月)	川崎アゼリア内サンライト広場(神奈川県川崎市)	東京本部	物産展にあわせた観光PRを実施した。
六本木ヒルズ自治会「オンライン夏の集い」	8月28日(土)	WEB	森ビル(株)	鳥取砂丘砂の美術館とオンラインでつなぎ、鳥取砂丘や砂像をPRした。
AKB48「とっとりの梨食べ大使」任命式	9月22日(水)	都道府県会館(千代田区平河町)	販路拡大・輸出促進課、東京本部	AKB48を「とっとりの梨食べ大使」に任命し、メディア向けに鳥取県及び本県の梨をPRした。
生活情報誌「ESSE(エッセ)」とタイアップした星空舞のPR	10月1日(金)~	—	東京本部	五ツ星お米マイスターによる星空舞を使った美味しい土鍋ご飯の炊き方等を雑誌で紹介。さらにESSEプラチナインフルエンサーのSNSやニュースサイト等で星空舞をPRした。
六本木ヒルズ屋上庭園「星空舞 稲刈り」メディア発表会	10月9日(土)	六本木ヒルズけやき坂コンプレックス屋上庭園(港区六本木)	森ビル(株)、東京本部	星空舞の稲刈りを実施し、鳥取県、星空舞及び星空舞にあう鳥取グルメをPRした。(感染症予防の観点から、メディア向けに関係者のみで実施)
ヒルズブレイクファースト	10月21日(木)	WEB	森ビル(株)	六本木ヒルズが定期的に行っている朝のトークイベントで、鳥取県の副業の取り組みを紹介した。
展覧会「民藝の100年」開催にあわせた毎日新聞でのPR	10月22日(金)~	—	東京本部	国立近代美術館で開催される展覧会の開催にあわせ、鳥取民藝・観光をPRした。



六本木ヒルズ大屋根プラザ「鳥取県観光物産展」	11月19日 (金)~11月20日(土)	六本木ヒルズ大屋根プラザ(港区六本木)	東京本部	旬の活き松葉がに釣り体験や、カニ汁・物産販売にあわせ、鳥取砂丘でのVR体験など観光をPRした。
アンテナショップでの青谷弥生人復顔像の公開	11月26日 (金)~11月28日(日)	アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」(港区新橋)	とっとり弥生の王国推進課、東京本部	青谷弥生人復顔像の展示にあわせて観光PRを実施した。
明治大学・鳥取県連携講座	11月29日 (月)	WEB	明治大学、東京本部	「鳥取いにしへの木の文化」をテーマに、県埋蔵文化財センター職員と明治大学教授によるオンライン講座を実施し、青谷上寺地遺跡等をPRした。
六本木ヒルズ屋上庭園「もちつきイベント」	1月8日(土)	六本木ヒルズけやき坂コンプレックス屋上庭園(港区六本木)	森ビル(株)、東京本部	鳥取県及び星空舞をPRした。さらに、弥生時代風のもちつき・青谷弥生人復顔像の展示を行い、青谷上寺地遺跡のPRも実施した。
六本木ヒルズ自治会「2022年新年会」	1月19日(水)	WEB	森ビル(株)	皆生温泉 東光園とオンラインでつなぎ、観光PR及び鳥取荒神神楽を披露した。
福寄せ雛はじめての上京 in とっとり・おかやま新橋館	2月15日(火)~3月3日(木)	アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」	東京本部	福寄せ雛の展示やいちご「とっておき」を使用した期間限定スイーツを販売し、本県及び日野町をPRした。
八芳園MuSubu鳥取イベント「きなんせ鳥取！」	3月16日(水)~21日(月)	八芳園ポップアップショールーム「MuSubu」	八芳園	オンラインで鳥取とつなぎ、ジビエや民藝に関するメディアセミナーを実施。イベントでは県産食材を使用したオリジナルメニュー、特産品、民藝品等を販売し、あわせて観光PRを実施した。
NHK「みんなのきょうの料理」インスタライブ	3月18日(金)	アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」から中継	東京本部	中国料理のトップシェフ 脇屋 友詞氏による県産食材を使用した料理の模様をインスタグラムでライブ配信した。

(2) マスメディアを活用した情報発信

区分	件数	媒体
テレビ	23	テレビ朝日、日本テレビ、フジテレビ、テレビ東京、東京MXテレビ、千葉テレビなどのニュースや情報番組などで旬の物産情報、観光情報(蟹取県等)が放送。
新聞・雑誌等	64	旅行読売、Discover Japan、Travel&Life、オレンジページ、毎日新聞、観光経済新聞などでサウナや鉄道、温泉等の観光情報、県産品情報、蟹取県等の取り組みが掲載。
インターネットメディア	—	Travel&Life、ESSE Online、オレンジページnet、たびよみ、イエモネ、読売新聞オンラインなどで観光情報や旬の物産情報が配信。

(3) 旅行会社への情報提供

- ・観光プロモーターによる情報提供（通年）  
観光プロモーターを通じてJTB、近畿日本ツーリスト、ANAセールス、日本旅行、クラブツーリズム、三越トラベルなどの旅行社に旬の観光情報を提供。

・中国ブロック観光情報交換会（年3回・主催：中国五県物産観光協議会）

6月17日（木） WEB実施	密を避けて楽しめる鳥取のアウトドアツーリズム（サイクリング、とりキャン）等をPR（参加者45名）
10月21日（木） WEB実施	鳥取砂丘のアクティビティ（夜の月面都市AR体験）等をPR（参加者52名）
2月17日（木） WEB実施	境港水産物地方卸売市場、境港水産物直売センターをPR（参加者30名）

(4) 観光相談と紹介等

東京本部及びとっとり・おかやま新橋館への来所相談 4月～3月（累計）：740件

※とっとり・おかやま新橋館は8月10日～8月15日臨時休館

<相談事例>

- ・新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いたらぜひ旅行したいのでパンフレットが欲しい。
- ・鳥取で蟹を食べたいが時期はいつ頃が良いか。飲食店や宿泊についても知りたい。
- ・レンタカーにて鳥取旅行を計画しているのでルートを確認したい。

20 移住定住・就業支援の状況

(1) 移住定住・就業支援に係る取組（大学との連携に係るものを除く）

ア 鳥取県立東京ハローワークの運営（就業支援の取組）

- ・アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」2階に開設している「移住・しごと相談コーナー（岡山県との共同運営）」において、（公財）ふるさと鳥取県定住機構と連携して就業相談と移住相談にワンストップで対応した。
- ・求職者への相談対応や県内企業とのマッチングを実施したほか、各種の転職フェア・移住フェアや相談会に出展して求職者や移住希望者の掘り起こしを行い、IJUターン就職・移住定住に向けた支援を行った。

イ 移住定住への取組

（公財）ふるさと鳥取県定住機構と連携し、毎月1回「移住休日相談会」及び「平日ナイター相談会」を行った。

ウ 取組実績

名称	開催回数	相談数
移住休日相談会	11回	70組
平日ナイター相談会	12回	16組

(2) 大学等との連携

ア 大学等が実施するIJUターン就職相談会への参加

首都圏の大学に在学する学生の本県へのIJUターン就職を促進するため大学に働きかけを行い、参加可能な大学内の就職相談会等（オンライン）に参加して学生の相談対応等を行った。（（公財）ふるさと鳥取県定住機構が主として対応）

イ 大学等との就職支援協定締結の働きかけ

学生へのIJUターン就職について大学との連携をより一層強化する目的で、大学等に対し就職支援協定の締結の働きかけを行った。（ふるさと人口政策課、（公財）ふるさと鳥取県定住機構と連携して対応）

ウ 取組実績

国士舘大学と協定を締結した

2.1 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(令和4年3月31日現在)

団体名	職員数 (人)	当初入居 の年月日	面積 (㎡)	職員1人当 たりの面積 (㎡)	入居の理由	共益費等の 負担方法	備考
公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構	3	H31.4	—	—	県委託により、首都圏における本県への移住・就職相談等を行うため。	—	とっとり・おかやま新橋館2階 移住・しごと相談コーナー内入居 (港区新橋1-11-7 新橋センタープレイスビル2階)

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該当なし